

たまむしの森

— 谷川士清の会会報 — 第10号

発行年月日
平成21年3月25日
発行者 谷川士清の会

“士清生誕300年記念祭”

今年は、谷川士清“生誕300年”を迎えた、意義深い年であります。

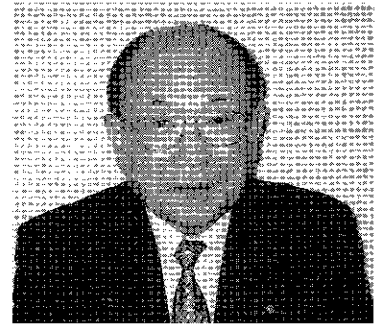
昨年、津市と協働の第1回記念事業実行委員会が開催されて以来、さまざまな行事を通じて、津地域はもとより周辺の地域においても、子供達を含め、谷川士清をもっと知ろうという気運が盛り上がってまいりましたのも、関係の方々のご尽力の賜と感謝いたしております。

さて、いよいよ“生誕300年記念祭”の開催となります。

歌碑プレートの設置や記念誌の発行等々、記念事業のメインイベントにふさわしい内容を計画していただきました。

今後、これら記念事業を大きなステップとし、郷土の偉大な国学者「谷川士清」を引き続き顕彰し、全国にその偉業を伝えていくことが、地元だけでなく津市民から期待されているのではないのでしょうか。

“伊賀街道に谷川士清あり”と名所になるように。



21年1月10日(土) 新年会にて

(士清の会代表 川瀬利夫)

谷川士清生誕300年記念事業の鎬矢

歌碑プレート除幕式が士清生誕日に

2月26日(木) 15時～15時30分 旧宅前で

1) 式典

主催者挨拶：松田直久津市長と川瀬利夫実行委員会会長

来賓祝辞：新市議会議長竹澤氏（来賓は同議長・副議長以下教育厚生常任委員の市議5名）

2) 歌碑プレートの除幕（川瀬代表と松田市長・中西教育委員長・新町小学校4年川喜田智也さん、西橋内中学校2年宇野正人生徒会長・竹澤市議会議長たちによる）

報道関係者や近所の人たちに混じって我々士清の会会員達もその瞬間を見守った。



3) 士清和歌「やまとたましひ」の歌唱披露

「何故に砕きし身ぞと問はばそれと答へむやまとたましひ」

明治41年、生誕二百年を期して刊行された記念誌中にあった譜面を士清の会で提供し、新町小学校で伴奏を付けて編曲・練習を重ねてきた四年生達75名が合唱。黄色の地に「士清ソーレ」とかいたTシャツを着て元気に歌ってくれた。

4) 「士清ソーレ」の披露

演舞：新町小学校4年生児童全員75名

演奏：西橋内中学校吹奏楽部生徒17名

元気でリズムカルに2番までカチャカチャと鳴る鳴子をもって踊り、近所の方の他に我が子や孫の姿を一目見ようという方がたも駆けつけ大賑わいとなった。伴奏の中学生は試験中だったようで協力に感謝。*式典終了後、我々会員の参加者もその歌碑の前で記念撮影。好天に恵まれてよかった。

